

たくさんの地域の声が届きました

横浜市会議員 伏見ゆきえ

議員になり8ヶ月が経ちました。その間、地域を回らせていただく中で、いろいろお声を聞かせて頂きました。

例えば、深谷通信隊の住宅前バス停までの街灯などは、利用をする人は戸塚区民ですが、場所が泉区のケ

ースは隣の泉区の先生にご相談するなどさせて頂き、今年の夏にはすべてがLEDに変えられることが決まりました。

委員会では、横浜市の子どもの貧困対策充実を

Dに変えられることが決まりました。

例えれば、深谷通信隊の住宅前バス停までの街灯などは、利用をする人は戸塚区民ですが、場所が泉区のケ

委員会では、横浜市の子どもの貧困対策に関する計

画（平成28年度～32年度）について言及しました。妊娠から大学を卒業した後

概ね20歳前半までの子どもと若者とその家庭等に対し、支援を行うものです。貧困の連鎖を断つために

は、学校だけではなく、地域によるきめ細かな学習支援、相談支援、経済支援により、就学の継続や進路の実現につなげていくことが重要です。

横浜版カナーハウスは、児童養護施設等を退所した若者の大学等進学を応援す

る、奨学生1人と社会人ボランティア3名がチームとなり、約3カ月かけてスピーチを作り上げ、卒業や資格所得まで継続的にサポートしていく

いきます。

児童養護施設等退所者向けアフターケア事業における奨学金支援制度事業として、昨年横浜市が必ず全国普及事業となる支援を牽引し、全国の自治体に先駆けて取り組んだ事業です。

今年も皆様とともに

今年も、地域の皆様の声をお聞きしながら、「女性」の視点的な政策事項を取り上げ、横浜市民、特に女性のがん検診受診率の向上に取り組んでまいります。